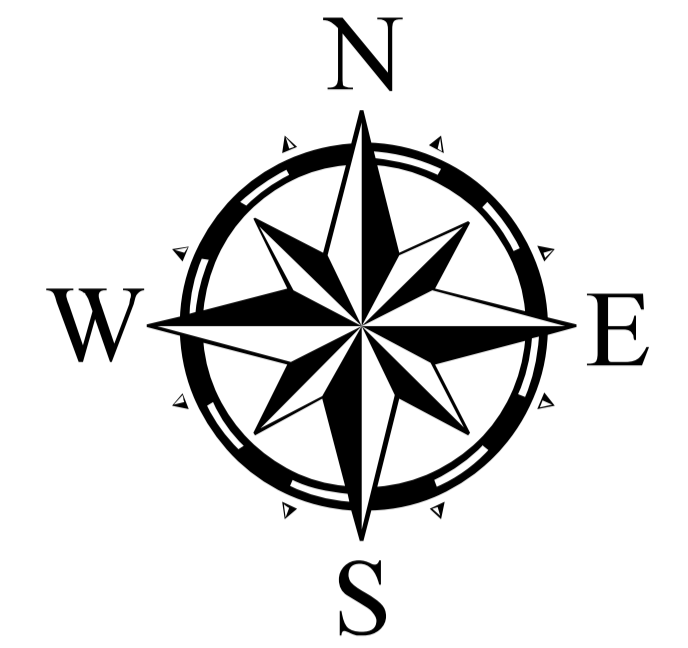
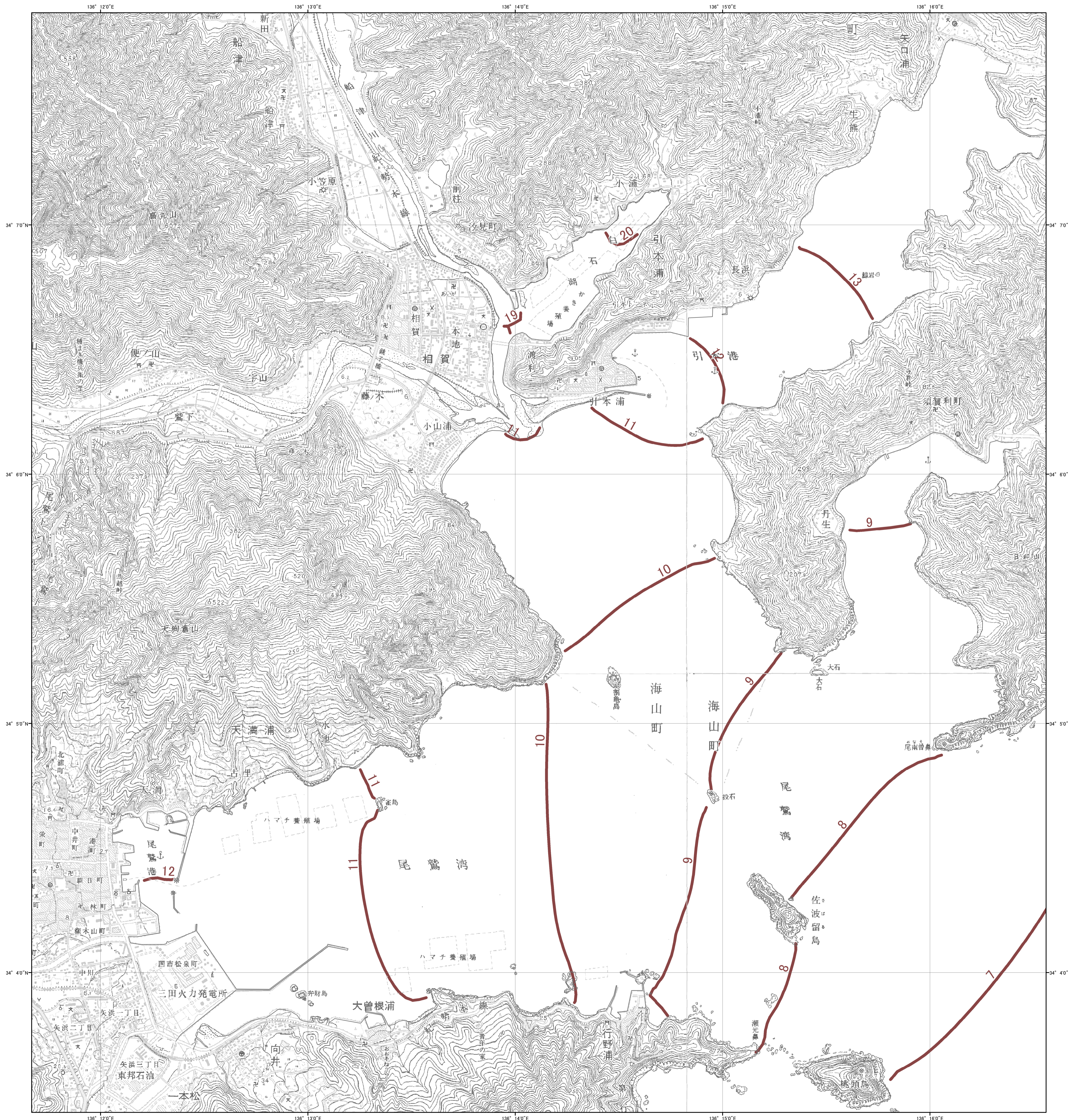


尾鷲港 津波到達時間マップ

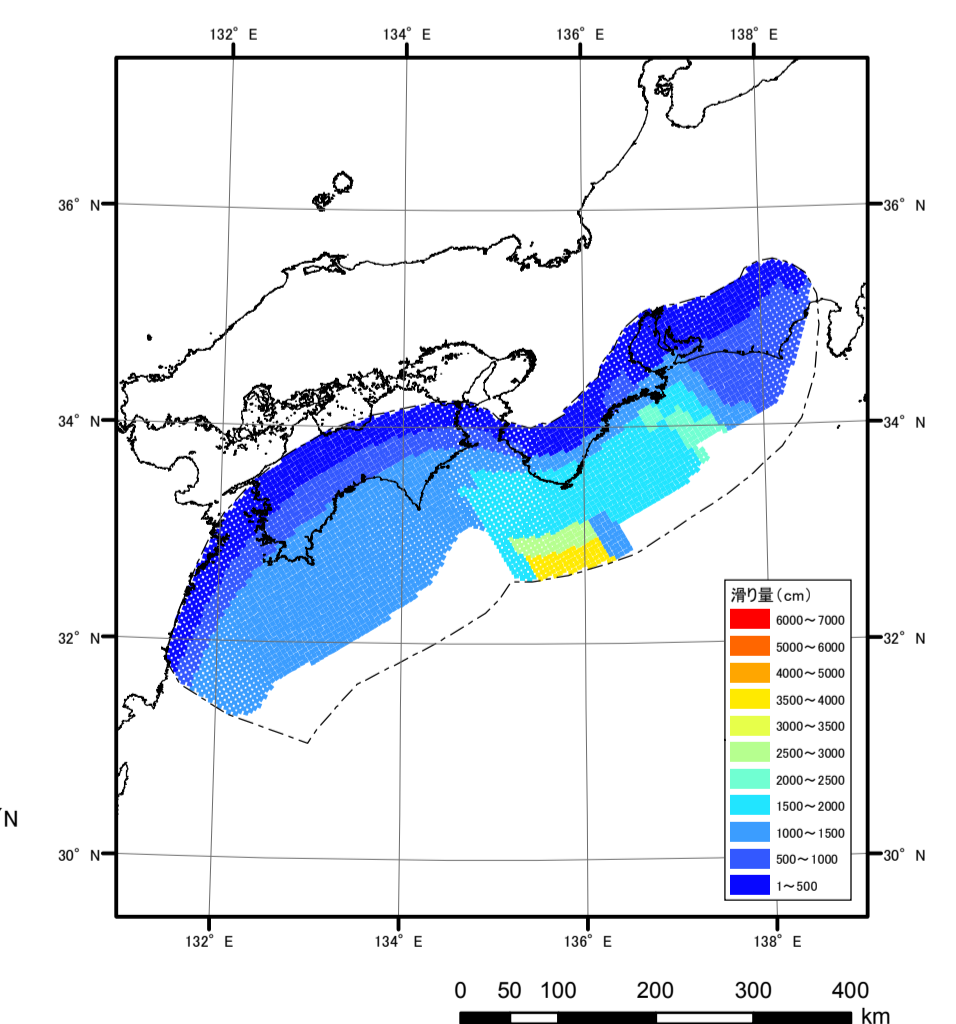
計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -76cm(-89cm ~ -50cm)
 Zo：1.04m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

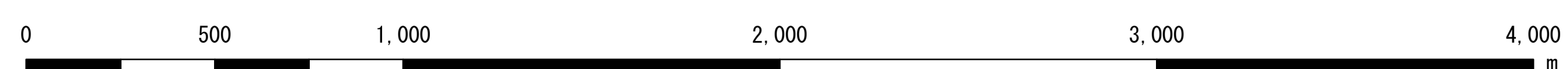
— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]



ケース①「紀伊半島沖に『大すべり域+（超すべり域、分岐断層）』」

断層面積 S(km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	5.3 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が作成する津波防災情報図に使用したデータ
 ・背景図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平28情根、第1474号)